作成情報

Title 使い方

Version 3

Author 高遠節夫

Date 2021.08.26

準備

- (1) GoogleClassroom(GC) を用いる.
- (2) 学生リスト student(+year).csv を作成する.
 番号,名前,登録姓,登録名,メールアドレスまたは
 番号,学籍,名前,ふりがな,登録姓,登録名,メールアドレス
- (3) 作業フォルダに mkanscsv, mkcard, mkscoremaxima の cdy を入れる.
- (4) サブフォルダ「data」を作成する.
- (5) data に次のファイルを入れる.
 学生リスト student(+year).csv
 問題と正解のファイル queans(+date).txt(以下,data=0712とする)

GC でのファイルの作成

- (1) 「質問」で作成する(「課題」ではない). **例えば**,0712-4 不定積分の計算(指数対数)
- (2) 学生の回答を回収



GC でのファイルの作成

- (1) 「質問」で作成する(「課題」ではない). **例えば**,0712-4 不定積分の計算(指数対数)
- (2) 学生の回答を回収
- (3) 採点を選び,ギヤマークで「これらの成績を csv 形式」例えば07124_不定積分の計算指数対数.csv ができる



GC でのファイルの作成

- (1) 「質問」で作成する(「課題」ではない). **例えば**,0712-4 不定積分の計算(指数対数)
- (2) 学生の回答を回収
- (3) 採点を選び、ギヤマークで「これらの成績を csv 形式」例えば07124_不定積分の計算指数対数.csv ができる
- (4) 回答のすべてを選択してコピー text ファイルにペーストして保存 例えば,07124.txt (ques=4)
- (5) (3)(4) のファイルを data に 入れる.



一覧ファイルの作成

- (1) mkeanscsv.cdy を立ち上げる
- (2) カーソルで枠を順に選びクリック head(以下 07121 とする) 表示



(3) Mkdata, Makecsv を押すと,次のファイルが data にできる.
ans07121.csv 学生名や学生の答えを入れた一覧表 (タブ区切り)

・答えは8列(修正用)と10列の両方に入る.

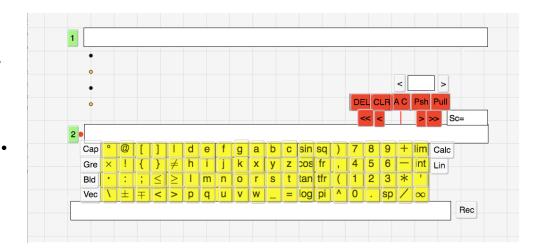
ansline07121.txt すべてのデータを1行にしたファイル

- (4) (2)(3) を繰り返す.
- (5) すべてができたら、Makerec を押すと、次のファイルが data にできる. (後で record07121.csv などを作成するときに用いる)

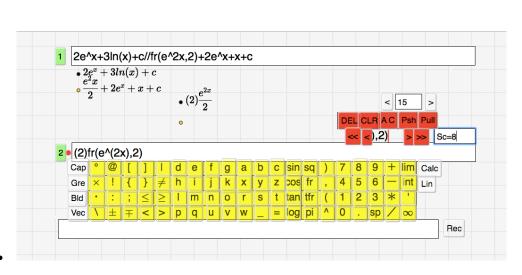
rec0712.r 採点コメントを入れた1行データをタブ区切りに直す

reckc0712... 上の実行バッチ (record0721.csv などすべてを作成)

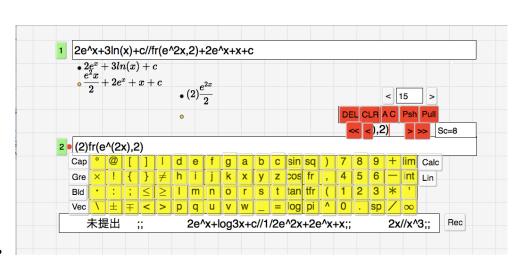
- (1) ketmathtoffL.html を立ち上げる.
- (2) ansline07121.txt のすべてを選択 コピーして最下段の入力窓に入れる.



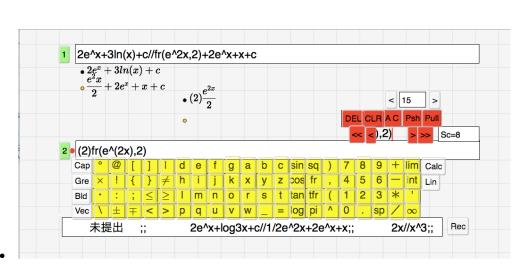
- (1) ketmathtoffL.html を立ち上げる.
- (2) ansline07121.txt のすべてを選択 コピーして最下段の入力窓に入れる.
- (3) <>で学生番号を変える.
- (4) 得点とコメント (2段目) を追加する.
 - ・得点はコメントの最後に::(ダブル半角コロン)をつけて書いてもよい.
- (5) 学生の答え(1段目)を入力ルールに合った数式に修正することもできる.



- (1) ketmathtoffL.html を立ち上げる.
- (2) ansline07121.txt のすべてを選択 コピーして最下段の入力窓に入れる.
- (3) <>で学生番号を変える.
- (4) 得点とコメント (2段目) を追加する.
 - ・得点はコメントの最後に::(ダブル半角コロン)をつけて書いてもよい.
- (5) 学生の答え(1段目)を入力ルールに合った数式に修正することもできる.
- (6) Rec ボタンを押すと最下段にすべてのデータ (1 行形式) が入る.



- (1) ketmathtoffL.html を立ち上げる.
- (2) ansline07121.txt のすべてを選択 コピーして最下段の入力窓に入れる.
- (3) <>で学生番号を変える.
- (4) 得点とコメント (2 段目) を追加する.
 - ・得点はコメントの最後に::(ダブル半角コロン)をつけて書いてもよい.
- (5) 学生の答え(1段目)を入力ルールに合った数式に修正することもできる.
- (6) Rec ボタンを押すと最下段にすべてのデータ (1 行形式) が入る.
- (7) すべてを選択してコピーする.
- (8) ansline07121.txt の 2 行目にペーストして保存する.
- (9) すべての問題番号で同様に行う.



結果ファイル (配付) の作成

- (1) data の $\operatorname{reckc0712}$ をダブルクリックするとすべての課題の csv ができる.
 - ・名前は record+date+ques+".csv" (タブ区切り) record071121.csv, ...
- (2) 必要があれば,ファイルを開いて修正する.
- (3) mkcard.cdy を立ち上げて、Makedata,Makefile を順に押す.
 - ・data に card フォルダができる.
 - ・各学生に配付する結果ファイルが card に入る.
 - 各学生の限定コメントやリンク先フォルダに入れる。

Maxima による採点

- (1) record(+date+ques).csv を開いて H 列を確認,適宜修正する.
 - ・小問番号は [1] または (1)+半角スペース
 - ・小問の区切りは //
 - ・ ketmath の書式に合っているか.
 - $\cdot x^2$ など, ascii 文字以外が使われていないか.
 - ・=がある場合は、最後の式だけが選択されるのでそのままでよい.
- (2) mkscoremaxima.cdy を立ち上げる.
- (3) データを選び、Makedata,Makefile を順に押す.
 - ・score+date+quesno.csv が data にできる(タブ区切り)
 - ・学生回答/正解を計算

1のとき 得点 10,未提出 得点 0,それ以外 結果そのまま